

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

ニューヨークでの勤務をふりかえって



松江市産業観光部国際観光課国際観光係専門企画員 吉川 幸男

はじめに

米国駐在から帰任し、瞬間に2年が経過しました。当時を振り返る機会をいただき、クリアで経験、遭遇したさまざまな出来事が思い浮かびます。国際業務の経験は皆無で、素人同然の私には不安と驚きの連続でしたが、自治体の国際業務が俯瞰できた貴重な期間でした。同時に、全国から集った職員が異国で事務所を切り盛りし、一定の成果も求められる、サバイバルな期間でもありました。拙文ではありますが、この度ご紹介する経験談が皆様の興味関心に多少でも合致すれば幸いです。

海外事務所で働く

赴任直後は、異国での生活と仕事を同時に立ち上げていく大変な時期です。住居さえ決まらない中、目の前仕事もこなさなければなりません。当然とはいえ、OA機器の操作画面なども全て英語表示です。仕事を進めようにもコピーさえ満足にできない状態に焦り、空回りの毎日でした。準備してきたはずの英語も簡単には通用しません。登庁初日、コーヒー一杯がスムーズに注文できなかったことを鮮明に記憶しています。

事務所に現地調査員はいても、彼らとのコミュニケーションはもちろん、対外的な業務も可能な限り職員が英語で遂行することが求められます。書類やメールはどうにか処理できますが電話には苦勞します。電話が鳴ったときの恐怖と通話を終えたときの脱力は海外勤務ならではの経験です。



自治体の海外活動を支援する

特に印象に残る仕事は、日本の自治体が行う海外活動への支援業務です。遠く離れた北米で、日本の自治体がさまざまな活動を展開していることに驚きました。姉妹都市交流や先進地視察に留まらず、地元産品販促、観光客誘致、国際会議参加、さらにはオリンピック誘致まで実にさまざまです。事務所をあげて支援した都知事トップセールスの後、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定した際は他人事とは思えませんでした。松江市や島根県からの支援の依頼もあり、異国で地元の方々と汗をかくことができたのは派遣職員冥利に尽きました。支援業務を通じ、自治体職員や訪問先の関係者から話

を聞く機会にも恵まれました。特に特産品販促活動への随行が多かったため、浅学の身ながら、日本の自治体が北米で行う経済活動についてTV番組で説明する機会までいただきました。



「常に知事級の訪米と思って対応せよ!」と檄が飛んだ支援業務では、苦勞の一方、デスクワークからは得難い経験を積むことができました。国連の中を走り回らなくて、どんなにお金を払ってもできない経験ですよ。

おわりに

松江市からニューヨーク事務所への派遣は私が初代です。名立たる組織から派遣された同僚を横目に不安も募りましたが、そんな仲間に支えられ、無事に業務をやり遂げることができました。

クリアの同僚とは出張先などで再会することも多く、情報交換しながら旧交を温めています。こうした人脈を得たこともクリア派遣の成果です。中でも、本部で机を並べた島根県の桑本主任は、私と同じ観光部署に帰任され、再び一緒に仕事をする間柄です。ニューヨークで上司だった犬丸次長は、昨年、島根県環境生活部長に就任されました。互いを戦友と呼びながら、当時の思い出話を肴に杯を交わしています。

私は現在、国際観光課でフランスやタイからの誘客を担当しています。外国の旅行会社と仕事をする機会も多く、ニューヨークでの苦勞と経験は何よりの助けになっています。

肝心の英語ですが、帰任が近づく頃、まともに買えなかったコーヒーが普通にオーダーできた自分に気が付きました。細やかですが、成長を実感できた何よりの出来事でした。

プロフィール

- 現在の所属・役職：松江市産業観光部国際観光課
国際観光係 専門企画員
- 現在の業務内容：外国人観光客誘致
- CLAIRでの所属：
2012年4月～2013年3月：東京本部交流支援部交流親善課
主査
2013年4月～2015年3月：ニューヨーク事務所 所長補佐